

## 社会システム土木系学科

募集予定

2人

わたしの  
AO入試  
(現 総合型選抜)

## しっかり自己分析して自分のことを理解することが大切!

ものづくりが好きで工学系の高校に進学しました。そこで勉強をする中で、橋のような大きな構造物についても学んで建設業に興味を持ち、大学受験を決めました。土木と建築のどちらも学びたいと思い、土木工学の幅広い知識と技術を学びながら建築士になる勉強もできる鳥大工学部を志望しました。推薦入試を受けようと思いましたが、進学担当の先生に勧められたのをきっかけにAO入試にチャレンジすることにしました。自己推薦書には高校3年間で取得した資格や、文武両道で部活も試験も頑張ってきたことを書きました。高校時代に積み重ねてきたことを振り返り、しっかり自己分析して自分自身のことを理解しておくことが大切です。

## 面接では飾らずにありのままの自分を出そう

書類の準備は8月頃から始めました。志望理由には、なぜ建設業に興味を持ったのかに触れ、地方で少子高齢化が進む中、いかに住みやすいまちづくりをインフラ整備の面から進めていくか。その知識や技術を実践的に学べる鳥大に入りたいとアピールしました。面接ではその場だけ取り繕っても面接官にはきっと見抜かれてしまいます。変に飾るよりも普段の自分をありのまま出すのがいいと思います。2次選考の口頭試問では数学と英語の基礎学力を確認されます。英語は英検準2級を取得していたので手応えがありましたが、数学は正直、難しかったです。工学部は入ってから数学と物理が必要なので、基礎的な学力は身に付けておくことをオススメします。

3年

くろいわ あやか  
黒岩 綾香さん

山口県立防府商工高等学校出身

MY FAVORITE TOTTORI

時間の流れがゆっくり

時間の流れがゆっくりしているところが好きです。都会に行く人がたくさんいて、自分には鳥取のような場所の方が合うなと思いました。食べ物がおいしいのも魅力です。

全文はWebで!



## 第2次選考

## 選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2020年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2021年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して  
求める力

社会システム土木系学科では、工学に関わる専門的な知識とともに、社会のしくみに関わる幅広い知識を持ち、安全で安心な社会の構築に貢献できるエキスパートの育成を目指しています。数学・理科の力とともに、高校時代に履修できるあらゆる科目や活動を通じて積極的に学び、社会のさまざまな課題について多面的にとらえるための幅広い教養を養ってください。

## 講義等理解力試験

講師(1名)が、本学科の教育内容や研究内容に関する講義(90分)を行い、その後、講義内容に関する筆記試験(60分)を行いました。

## 小論文

我が国の道路・トンネル・橋などの社会インフラストラクチャ(インフラ)の建設は1950年代に開始し1980年代にピークを迎えたこと、一般的にインフラの寿命は50年であり、今後インフラの保全が重要な社会課題になることを説明した。このような社会状況下で、①身の回りで発生しているインフラ劣化に関する具体例とそれが引き起こす推測される問題、②我が国のインフラ保全を行う際に障害になっている事柄とその理由について自分の考えを60分間で論述するものでした(800字以内)。

## 個人面接

4名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。

## 口頭試問

4名の試験官による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

## ●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
2次(講義等理解力試験)	○	○	
2次(小論文)	○	○	
2次(面接)		○	○
2次(口頭試問)	○	○	